

審議会等の会議録

審議会等名	令和5年度第1回海老名市社会教育委員会会議
開催日時	令和5年6月21日（水）10時から11時40分まで
場 所	えびなこどもセンター 201 会議室
出席者	社会教育委員10名 梅崎委員、金指委員、金田委員、栗山委員、佐藤委員 中谷委員、中野委員、橋本委員、松島委員、山田委員 事務局9名 教育長 伊藤 文康 教育担当理事 小宮 洋子 教育部長 中込 明宏 教育部次長 江下 裕隆 学び支援課長 松本 晃子 学び支援課主幹兼学び支援係長 中島 裕子 学び支援課副主幹兼指導主事兼社会教育主事 重岡 慎一朗 学び支援課主任主事 大塚 美樹 学び支援課主事 小谷田 宏紀 指定管理者2名 中央図書館 高橋氏 有馬図書館 大河原氏
傍聴人数	0名
公開の可否	☐ 公開 ☒ 一部非公開 ☐ 非公開
一部非公開・非公開の理由	議題（2）については、予算に係る内容であるため非公開
議 題	（1）海老名市教育大綱・社会教育計画について （2）令和5年度社会教育関係団体への補助金について （3）海老名市立図書館 指定管理者の募集について （4）海老名市立図書館について （5）その他 ・今後の予定について（神奈川県社会教育委員連絡協議会）

資 料	(1) 次第 (2) 席次表、出席者名簿 (3) 海老名市教育大綱 (4) 海老名市社会教育計画 (5) 海老名市社会教育団体のしおり (6) 社会教育法、図書館法、海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会議規則 (7) 海老名市社会教育計画について (8) えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて (9) 令和5年度 海老名市社会教育関係団体への補助金について (10) 「海老名市立中央図書館」、「海老名市立有馬図書館及び門沢橋コミュニティセンター」の指定管理者募集について (11) 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会事業計画(案)について (12) 海老名市立中央図書館 2023年度事業計画 (13) 海老名市立有馬図書館 令和5年度の取り組み
--------	--

○会議の内容

1 開会	
【事務局】	定刻となりましたので、令和5年度第1回海老名市社会教育委員会議を開会いたします。 これより委嘱状の交付を行います。
2 委嘱状交付	
【教育長】	(伊藤教育長より委嘱状交付)
3 あいさつ	
【事務局】	続きまして、伊藤教育長よりごあいさつ申し上げます。
【教育長】	(伊藤教育長あいさつ)
4 自己紹介	
【事務局】	令和5年度第1回目の会議となりますので、委員の皆様と事務局から自己紹介をお願いいたします。
【委員】	(委員自己紹介)
【事務局】	(事務局自己紹介)
5 社会教育委員の役割について	

【事務局】	「社会教育」とは、学校の教育課程以外の、組織的に行われている教育活動と定められています。 （関係法令、規則に沿って団体、会議、役割について説明）
6 議長・副議長の選出	
【事務局】	それでは、海老名市社会教育委員会議規則第2条により、委員の互選により議長・副議長を1名ずつ選出したいと思います。いかがでしょうか。
【委員】	事務局一任でいかがでしょうか。
【事務局】	ありがとうございます。事務局案といたしましては、昨年度に引き続き、議長を山田委員、副議長を橋本委員としたいと思いますが、これにご異議等ございますでしょうか。
【委員一同】	（異議なし）
【事務局】	ありがとうございます。皆様にご賛同いただきましたので、議長は山田委員、副議長は橋本委員となりました。 改めまして、山田議長よりごあいさつをお願いいたします。
【議長】	（山田議長よりあいさつ）
【事務局】	ありがとうございました。続きまして、橋本副議長よりごあいさつをお願いいたします。
【副議長】	（橋本副議長よりあいさつ）
【事務局】	ありがとうございました。それでは、これより議事に入ります。 山田議長、議事の進行をお願いいたします。
7 議事	
【議長】	それでは、議事を進めさせていただきます。 一点目、海老名市社会教育計画について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	海老名市教育大綱について、昨年度の社会教育委員会にてご意見いただきましてありがとうございます。いただいた意見の内容を反映し、教育大綱を策定し、これに基づき取り組みをしています。 （海老名市教育大綱、社会教育計画について説明）
【議長】	ありがとうございます。事務局より社会教育計画の昨年度までの実績と今年度の計画について説明がありましたが、取り組みに対する評価やご意見などいかがでしょうか。
【委員】	資料7ページ（2）手立て2に記載されている文化芸術協会とスポーツ協会との連携について、伝統文化の活動人口は高齢者が多く、若者が少ないため、文化の継承に不安を感じている。小学校の応援団の力を借りて、文芸指導者が小学校の学区に住んでいる保護者に依頼して、応援

	団の輪の中に入り、関わりを深め、“和の文化”を子どもたちに伝えていただきたいという働きかけをこれから始めていくところである。 また、今年度の4、5月に中学校・高等学校の校長に文化芸術協会としてのご挨拶と活動に対する協力をお願いしてきた。中学校は忙しく、学校行事で精いっぱいの様子だったが、高等学校では、部活動など生徒たちが割と積極的に話に乗ってくれそうな雰囲気だった。校長先生の中には生徒の中に入り込んで、生徒たちの活動や希望を聞き取っている方もいて、訪問の効果があったと感じた。それに力を得て、一朝一夕でできることではないが、こういった活動の基礎づくりをしていきたいと思っている。大谷小学校の応援団は非常に熱心で活動が活発にされている。ほかの小学校の応援団も活発にして、そこに入っていけたらと思う。将来的には、伝統文化の子ども教室を開設し、教育委員会のふれあいフェスタなどで発表の場を設けるなど、ゆくゆくは文科省からの予算をもらえるくらいまでを目指していきたい。今はその第1歩として活動をしていきたいと思っている。
【議長】	貴重なご意見ありがとうございました。 続きまして、えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて、事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	ご意見ありがとうございました。団体同士の連携というところをこれからも意識して進めてまいります。 続きまして、団体同士の連携を目的としている「えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム」についてご説明いたします。 （えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて、今年度の事業概要を説明） 昨年度は事務局である程度の枠組みを決めてから、みなさんに提案しましたが、今年度は内容や参加団体について社会教育委員のみなさんからの意見をもとに、決定していきたいと思っていますので、ご意見いただければと思います。
【議長】	まずは、えびなっ子ふれあいフェスタについて、ご意見をお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。
【委員】	昨年のストラックアウトは大変好評だった。初回だったので改善点もあると思うが、今後も長く続けながらブラッシュアップしていけたらいいと思う。
【委員】	スタンプラリーはあちこち回らなくてはいけなくて、長くいられなかったのが残念だった。
【委員】	自身も普段はイベントを開催する側だが、昨年のふれあいフェスタでは事務局が綿密な計画を立てて実施しているのが大変勉強になった。

	参加者の印象としては親子参加が多く、子どもが体験しているのを楽しそうに見ている様子だった。 ただ、「社会教育って何？」と聞かれることも多く、社会教育委員や社会教育が認知されていない。こういう活動を通して理解を広げていきたいと思う。
【委員】	緻密で丁寧な準備をされていた印象だった。
【委員】	スタンプラリーは子どもたちに好評だった。参加者から「社会教育委員ってなに？」と質問されることが多かった。その場で簡単に説明したが、このイベントを通して社会教育を知ってもらうきっかけになればいいと思う。
【委員】	事業の積み重ねで試行錯誤しながらみんなに認知してもらうことが大切。そのために交通の問題は解決しなくてはならない。また、せっかく実施するのであれば、今泉小学校に増設された場所等を使えばPRに繋がるのではないかな。
【委員】	今までやったことないことを“ちょっとやってみる”いい機会だと思う。今後はフェスタ自体を充実させるとともに、ここでの経験を忘れられないようにアプローチしていくことが大切だと感じた。
【議長】	ありがとうございました。続いて、いきいきシンポジウムについて、ご意見いかがでしょうか。
【委員】	子どもの等身大の言葉が聞けてよかった。今も心に残っている。緊張しながらも話している姿を多くの関係者が見守るということにも価値があると感じた。団体活動されている方、意識の高い方々が多いので、話をする時間が多く作れるとよかったと思う。
【議長】	ふれあいフェスタ、シンポジウムともに、事務局の企画、当日の天気等も考慮した事前準備が本当に良く、感謝している。次回にもつなげていきたい。ありがとうございました。
【事務局】	それでは、今いただいたご意見をもとに、えびなっ子ふれあいフェスタでは、子どもが体験してみたい活動を中心に組み立てていきたいと思っています。いきいきシンポジウムでは、交流の時間をとる、子どもの声を残せるように時間を調整しながら内容を構成したいと思っています。 また、会場の問題は、社会教育計画にも「小中学校で行う」ということも書いてありますので、今後、そこについてもご意見をいただきながら、計画していきたいと思っています。ありがとうございました。
【議長】	続きまして、令和5年度社会教育関係団体への補助金についてです。よろしく願いいたします。
海老名市情報公開条例第7条第3号の規定により、非公開	

【議長】	続きまして、海老名市立図書館指定管理者の募集について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(海老名市立図書館の指定管理者の募集の流れについて説明)
【議長】	ありがとうございます。只今の件について、皆様から何かございますでしょうか。 ご意見なければ、ここで一度休憩をはさみたいと思います。会議再開について事務局からお願いします。
【事務局】	ここで5分ほど休憩をはさみます。11時20分より再開いたします。よろしくお願いいたします。
【議長】	それでは会議再開いたします。続きまして、議事4 海老名市立図書館についてです。中央図書館 高橋館長様お願いいたします。
【指定管理者】	(海老名市立中央図書館 2023年度事業計画について説明)
【議長】	ありがとうございます。有馬図書館 大河原館長様お願いいたします。
【指定管理者】	(海老名市立有馬図書館「令和5年度の取り組み」について説明)
【議長】	ありがとうございます。各図書館についてご説明いただきましたが、ご意見よろしくをお願いいたします。
【委員】	図書館でたくさんのイベントを企画して、子どもたちの居場所になっているのがとても良い。地元企業の協力も得て、学びの場になっていてありがたく思う。
【委員】	図書館でこんなにたくさんのイベントをやっていることに驚いた。本を借りに行くだけの場所ではないんだと感じた。
【委員】	図書館でのイベントには子どもと参加したことがある。物づくり体験などいろんなものに触れ合える機会になってよかった。イベントの申込方法については、現地申込だけでなく、インターネットを利用するなどしていただけると嬉しい。
【議長】	ありがとうございました。続きまして、その他、今後の予定について、事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会事業計画(案)について説明) 神奈川県社会教育委員連絡協議会(県社教連)事業の地区研究会が、令和6年度に海老名市と大磯町で開催することになりました。県社教連から11月もしくは2月開催との指示があり、せっかくの機会なので、海老名市では11月のえびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムと同日開催をして、海老名市の取り組みをアピールしていきたいと考えています。具体的な内容としては、伝統文化の紹介と人権に関する発表を主とし、大枠の内容は市で決めていいということです。前回海老名

	市で開催したときは海老名のささら踊りを披露しました。内容、同日開催の可否につきましては、また改めてご意見いただければと思います。 もう一点、令和７年度に関東甲信越静社会教育研究大会が神奈川県で開催されます。これに向け、令和６年３月に実行委員会が実施されるので委員の皆様にご協力をお願いいたします。
【議長】	ありがとうございます。令和６年度、７年度事業の説明がありましたが、ご意見等ございますでしょうか。
【教育長】	地区研究会の人数規模はどのくらいか。
【事務局】	県内３３市町村で各市町村３名程度、その他関係者を合わせて１５０名程度を想定しています。
【議長】	海老名市は交通の便がいいので、集まりやすいのではないかと思います。
【委員】	１１月に同日開催することになった場合は、どういう流れになるか。
【事務局】	同日開催の場合は、土曜日に文化会館で開催する予定です。午前中にえびなっ子ふれあいフェスタを実施、午後地区研究会の中にいきいきシンポジウムを組み込む形で実施したいと考えております。
【議長】	ありがとうございます。今後事務局と連携を取りながら進めていきたいと思います。
【議長】	それでは、ほかにご意見なければ事務局に進行をお返しします。 拙い進行でしたが、ご協力ありがとうございました。
８ その他	
【事務局】	山田議長、議事の進行ありがとうございました。 それでは、事務局から事務連絡です。（今後の会議日程等を連絡）
９ 閉会	
【事務局】	閉会のごあいさつを橋本副議長からいただきたいと思います。
【副議長】	（橋本副議長あいさつ）